

年 組 名前 :

山梨の宝飾世界に発信 甲府でジュエリーフェア開幕

国内外の宝飾業者が集まる国際展示会「山梨ジュエリーフェア（YJF）2025」（協同組合県ジュエリー協会主催）が9日、甲府・アイメッセ山梨で開幕した。11日までの3日間、県内を中心とした宝飾関連業者128社がブースを出展。国内外から訪れたバイヤーと商談を交わし、職人による実演コーナーもあり、大勢の来場者でにぎわった。

出展した宝飾関連業者の6割以上が県内業者。各ブースには金やプラチナの指輪、ネックレス、ピアスのほか、天然石やリボンなど国内外のバイヤーが熱心に品定めをしていた。



職人が水晶研磨の技術を披露するブース



商品を品定めする来場者—いずれも甲府・アイメッセ山梨

バイヤーのニーズに対応して、フリーWiFi環境を整備。協会の宝石研磨、貴金属工芸、水晶美術彫刻の職人による実演コーナーもあり、宝飾業の集積産地としての山梨の高い技術力をアピールしている。

生成人工知能（AI）を取り入れた商品開発を紹介する企業のブースや、宝飾品からリサイクルした金の延べ棒を持ち上げられるコーナーもある。ジェトロ山梨貿易情報センターが招いた、中国の大手EC（電子商取引）サイトの著名なバイヤー10社と、出展業者の商談会もあった。

国際展示会として3回目です。初めて協会が単独で主催した。オープニングセレモニーには、長崎幸太郎知事や「ミス・インターナショナル世界大会2025」日本代表に選出された大月市在住の能崎愛さんが出席した。ジュエリーと共に地場産業のワインをPRしようというイベントも設けた。今年の総来場者数は昨年を約500人上回る6千人を



QRコードから動画を見られます

(2025年4月10日付 山梨日日新聞7面)

問1

国内外の宝飾業者が集まる国際展示会が、甲府・アイメッセ山梨で開かれました。何社がブースを出展しましたか。

.....社

問2

会場には、どのような国からのバイヤーが来場しましたか。

.....

問3

この国際展示会が山梨県で行われることは、山梨県にとって、どのような意味がありますか。

.....